

第六十三回

祇園をどり

主催 祇園東歌舞会
後援 京都府・京都市・京都市観光協会

京都伝統伎芸振興財団
公益財団法人 京都文化交流コンベンションセンター
京都商工会議所

蘇民将来未弥栄

神様に宿を借した蘇民将来の末裔は疫病から守られる
——重要文化財八坂神社にことよせて——

演出 振付 藤間 紋寿郎
振付 藤間 紋
振付 補 藤間 涼太郎
脚本・構成 塩田 律
企 画 祇園東歌舞会

作曲 清元 菊輔
作詞 杵屋 勝緑
作調 藤舎 名生
作調 中村 寿鶴

第一景 初詣

初詣で賑わうお正月の八坂神社、恒例のかるた取りから抜け出た精は六歌仙の歌人たちです。八坂神社の新年の風物詩が華やかに歌われています。

第二景 祇園会

祇園祭に鉦づくし。宵の囃子に恋心をうつします。

第三景 八坂情話

「美御前社」の霊水は美容水として人気です。今まさに恋仲の二人とかつての情夫をとられた芸妓、その三角関係の結末は、鍵を握るのは美容水の霊力です。

第四景 素戔嗚の荒魂

八坂神社の境内社「悪王寺社」に祀られている素戔嗚尊は、琴の音を聞いて昔を思い出します。可愛い娘を大國主尊にさらわれた憤り、その荒ぶる御霊を鎮めようとする天宇受売命、神話の世界の二人の連舞です。

第五景 蘇民将来子孫栄

祇園祭の山鉦それぞれにまつわる故事を舞妓の艶姿でお楽しみください。祇園祭の粽に書かれた「蘇民将来之子孫成」の護符にちなんだ曲名です。

フィナーレ 祇園東小唄

祇園東界隈の四季の移ろいと名所を美しく唄い上げて芸妓・舞妓全員で華々しく舞いフィナーレを迎えます。